

日本精神衛生学会誌「こころの健康」へ論文を投稿なさる方は、まず投稿規定を熟読してください。投稿に際しては下記のリストを使って、原稿の最終チェックをした上で、編集委員会宛てにお送りください。

<投稿前のチェックリスト>

カバーシート（原稿の表紙）

- ☐ 投稿ジャンルを記したか
- ☐ 投稿ジャンルは適切か？
（原著論文ではオリジナリティが求められる）
- ☐ 的確なタイトルか（原著論文では英文表記も）
- ☐ 執筆者氏名（英文表記も）を記したか
- ☐ 各執筆者の所属機関（原著論文では英文表記も）を記したか
- ☐ 著者連絡先の住所を記したか（原著論文では英文表記も）
- ☐ 校正稿の送付先が上と異なる場合、送付先も記したか
- ☐ 著者電話番号を記したか
- ☐ 著者Eメールアドレスを記したか

抄録

- ☐ 原著論文・総説の場合、2頁目に800字以内の日本語抄録を付けたか
- ☐ 原著論文・総説の場合、抄録に続けて、5語以内のキーワードを付けたか
- ☐ その他の一般報告・資料にも抄録を付けてよい（必須ではない）
- ☐ 原著論文・総説の場合、原稿末尾に200語以内の英文抄録とキーワードを付けてもよい（必須ではない）

本文

- ☐ 用紙はA4判か
- ☐ 1頁あたりの行数が25行以下か
- ☐ カバーシート（および抄録）の次の頁から始めているか
- ☐ 本文の最初の頁に著者名を記してはならない
- ☐ 日本語、横書き、新かなを用いているか
- ☐ 欄外下部にページ番号を記入しているか
- ☐ 次の例のように構造化して書いているか
I. はじめに II. 対象と方法 III. 結果 IV. 考察 V. 結論
- ☐ 倫理的配慮が必要な内容の場合、その配慮について記したか

引用文献

- ☐ 本文中の引用文献番号は、初出順に²⁻⁴⁾のように上付で付けているか
- ☐ 引用文献リストは本文末尾に一括して、初出順に記載しているか
- ☐ 本文中に現れる引用文献と末尾のリストが完全に対応しているか

- ☐ 著者が4名以上の場合は3名までを記載し、以下は et al. または他と略記しているか
- ☐ 本文中で引用・言及しなかった参考文献のリストを添えてはならない

図表

- ☐ 図1、図2（または表1、表2）などとし番号を与えているか
- ☐ 本文中に挿入箇所を明示しているか
- ☐ 図表ごとの番号とタイトルを一括記載した別紙を添えたか
- ☐ 図表は1枚ずつ別の用紙に記したか
- ☐ それぞれの表の先頭に表タイトルを記したか
- ☐ 図の中に図タイトルを入れてはならない（次項を見よ）
- ☐ 図はそのまま製版できる鮮明なものか
- ☐ 図の裏面に図番号を記したか

その他

- ☐ 原稿全体の長さは投稿規定に従っているか（原著論文、総説、その他の一般報告・資料では、図・表・文献を含め、400字換算30枚以内）
- ☐ 清書原稿だけでなく、指定された部数のコピーを添えたか（初回投稿時はコピー3部）

（参考：文献リストの書式、1）などは投稿規定にあるのと同じ例）

ジャーナルからの引用は、著者名：題名．誌名，巻（号）：頁，発行年．の順に記載する。同一巻内の通し頁を記載する場合は号を省略する（下の例では(1)を略）。

- 1) 高塚雄介：こころの専門家とは何か．こころの健康 8(1): 12-15, 1993.

英文誌の場合、雑誌名は各誌が定めた略記法で記す。著者名はファミリーネームのみスペルアウトし、それ以外は頭文字のみ記す（ピリオドを付けない）。

- 7) Parker GB, Brown L, Blignault I: Coping behaviors as predictors of the course of clinical depression. Arch Gen Psychiatry 43 : 561-565, 1986.

単行書の場合は、著者名：書名．出版社，所在地，発行年．の順に記載する。

- 2) 佐治守夫，石郷岡泰，上里一郎：グループアプローチ．誠信書房，東京，1977.

単行書の一部を引用する場合には頁数も記載する。全体の編者と、引用部分の筆者が異なる場合は、次の例のように記載する。

- 3) 平木典子：臨床心理学の訓練と今後の課題．平木典子，巖崎秀章編：カウンセリングの基礎，北樹出版，東京，pp206-218, 1997.

- 8) Kiersky JE: Insight, self-deception, and psychosis in mood disorders. In Amador XF, David AS (Eds) : Insight and Psychosis, Oxford University Press, New York, pp91-104, 1998.

翻訳書の場合には、原著者：原題．出版社，所在地，発行年．を記載した後で（ ）内に訳書の情報を記載する。訳書の一部を引用し、頁数を記載する場合には、上記3)に準じて（ ）内に記載する。

- 9) Crowcroft A: The psychotic: understanding madness. Penguin, Harmondworth, 1967

（藤縄昭，三好暁光，新宮一成訳：精神医学への招待―心の病を理解するために．創元社，大阪，1980）．

インターネット上の資料を引用した場合は、発行者：題名，発行年，URL，閲覧日を明記する。DOIがある資料は、これも記載する。

- 5) Kageyama T: Views on suicide among middle-aged and elderly population in Japan: their association with demographic variables and feeling of shame in seeking help. *Psychiatry Clin Neurosci*, 66: 105-112, 2012. (doi: 10.1111/j.1440-1819.2011.02313.x)
- 6) 警察庁：少年からのシグナル（平成30年）2018. Retrieved from <https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/signal/signal2018.pdf>（2019年8月30日）

著者が4名以上の場合は3名までを記載し、以下は et al. または他と略記する。

- 4) 長沼 洋一，山村 礎，長沼 葉月他：大学保健センターにおける精神保健サービスの利用に至るプロセス要因の検討. *こころの健康* 24 (2): 57-67, 2009.
- 10) Fukunaga R, Abe Y, Nakagawa Y, et al.: Living alone is associated with depression among the elderly in a rural community in Japan. *Psychogeriatrics* 12: 179-185, 2012.